

私たちの歩み

- 1951年 『東京有職婦人クラブ』誕生—東京在住の働く女性たちが女性の地位向上を目指しながら親睦を図る小さなグループ。その後、横浜・名古屋などに同様のクラブが結成
- 1958年 日本有職婦人クラブ全国連合会が発足
- 1959年 BPW International (IFBPW) に加盟
- 1993年 名古屋コンgres開催—日本でのIFBPW 総会
- 1994年 世界各国の呼称統一で、日本BPW 連合会と改称
- 2009年 「特定非営利活動法人日本BPW 連合会」と法人化
- 2017年 認定NPO 法人に認定 2018年 創立60周年
- 2023年 現在、13のクラブ・アソシエーツ及び個人会員で組織され、会員数は約240名。内閣府男女共同参画推進連携会議の構成団体でもある。

主な活動

イコール・ペイ・デイ (EPD) キャンペーン

男女賃金格差の「見える化」。男性の1年分の賃金を女性が手にするため1年を超えて余計に働かなくてはならない日が「イコール・ペイ・デイ Equal Pay Day」。行政への要望書提出や街頭ピーアール活動等。(2023年は4月28日)



男女格差解消に向けた活動 (GGGI)

世界経済フォーラムが毎年公表する男女平等度指数 (The Global Gender Gap Index : GGGI) に基づき、男女格差解消に向けたシンポジウム開催や、提言を実施。(2023年GGGIは、146か国中、日本は125位と過去最低)

WEPs (女性のエンパワメント原則) の広報啓発

女性が能力を發揮しやすい環境整備に向け、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業の行動原則 (=WEPs: ウェップス) への理解及び参画企業拡大のための活動。

国連CSW インターン派遣及びイベント実施

国連女性の地位委員会 (CSW) に国際的な女性問題に取り組む意欲のある20~35歳の女性をインターンとして派遣。世界の女性たちと問題を共有し、国際的活躍へのキャリア応援。現地や帰国後にもイベントを運営・実施等。

[2023.8.15 版]

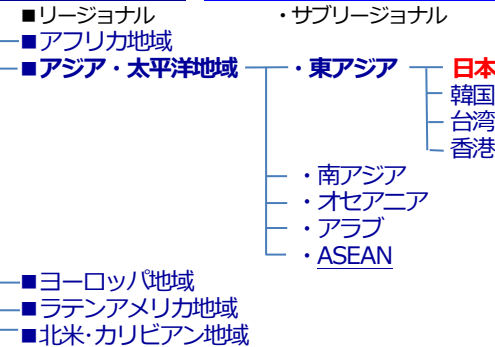
日本BPW 連合会 統一活動テーマ (2023-2024)

かなめ
SDGs 達成の 要 ゴール5
ジェンダー平等実現へ加速!

IFBPW テーマ 2021-2024
“New Actions through Cooperation”

組織

BPW International <http://www.bpw-international.org>



【国内組織】 認定NPO 法人日本BPW 連合会

執行役員会

理事長
副理事長
専務理事
会計

常任委員会

企画
組織
広報
国際
財務
ヤングBPW

監事 理事会

上記役員、常任委員長及び各単位クラブ代表理事で構成

プロジェクトチーム (PT)

課題に応じて結成

例: EPD-PT、CSW-PT、WEPS-PT 等

■ 単位クラブ等

東日本ブロック
札幌クラブ
山形アソシエーツ
東京クラブ
山梨アソシエーツ
名古屋クラブ
あいちアソシエーツ

西日本ブロック
大阪クラブ
和歌山クラブ
神戸クラブ
香川クラブ
福岡クラブ
北九州クラブ
長崎クラブ

■ その他

個人会員
賛助会員

<https://www.facebook.com/bpw.japan>

インスタグラム https://instagram.com/bpw_japan



National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN

認定NPO 法人 日本BPW 連合会

真のジェンダー平等を目指して

一人一人が一步前へ

声をあげ、ともに進む

203050: ニイマルサンマルゴーマル

日本のジェンダー平等が国際社会に著しく遅れている今、2030年までに、あらゆる分野で、あらゆる世代におけるジェンダー平等を、男女格差ゼロ社会をめざして…



BPW は、Business and Professional Women の略で、日本BPW 連合会は、働く女性の地位向上を目指して活動しています。2017年に東京都の認定NPO 法人資格を、2023年に国連経済社会理事会 (ECOSOC) の特別協議資格を取得しました。

** 事務局 **

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館303

TEL03-5304-7874 FAX03-5304-7876

E-mail office@bpw-japan.jp URL <https://www.bpw-japan.jp/>

日本 BPW 連合会歴代表 (会長・理事長)

- 1958 山主 敏子 共同通信論説委員
 - 1959 久米 愛 弁護士
 - 1961 西 清子 評論家
 - 1963 金子 みつ 参議院議員
 - 1965 高力 寿美子 大阪府専門職員
 - 1967 北野 とみ アメリカ文化センター次長
 - 1971 影山 裕子 国立電報電話局長
 - 1975 高橋 展子 駐デンマーク大使
 - 1976 橋本 綾子 衣笠学園園長
 - 1979 高橋 展子 駐デンマーク大使
 - 1980 安藤 はつえ あいふぉーらむ編集長
 - 1983 高橋 久子 最高裁判事
 - 1987 佐々 基子 NHK プロデューサー
 - 1991 安藤 はつえ あいふぉーらむ編集長
 - 1995 平松 昌子 就職情報誌編集長
 - 1999 出村 和子 弘前学院大学教授
 - 2003 平松 昌子 会社役員
 - 2005 黒崎 伸子 小児外科医
 - 2009 松原 敏美 弁護士
 - 2013 名取 はにわ 元男女共同参画局長
 - 2017 平松 昌子 会社役員
 - 2021- 名取 はにわ 日本社会事業大学理事長
- ※肩書きは、代表就任時のものとは限りません



第8・10代
高橋展子



第12代
高橋久子



第15・17・21代
平松昌子

2023 活動方針

1. 経済分野 (SDGs#8 働きがいも経済成長も)
・賃金の男女格差解消への研究と提言・企業の女性役員・管理職を増やす取り組み・EPDキャンペーン実施・WEPsの普及を含め地元企業経営者の理解・協力要請
2. 政治分野 (SDGs#5 ジェンダー平等を実現しよう)
・国・地方で女性議員を増やすための活動・女性が議員活動しやすい環境整備・政治に関わる主権者教育
3. 教育分野 (SDGs#4 質の高い教育をみんなに)
・高等教育 (特に STEAM 分野) への女性の進学を推進・教育現場でのジェンダー平等の推進 (トップ層の女性を増やす)
4. 健康分野 (SDGs#3 すべての人に健康と福祉を)
・女性への暴力や性被害による健康被害への対応 (予防や支援も含めて)・支援が必要な人の代弁者に・健康寿命の質向上

「すべては 2030 年に ジェンダー平等を実現するために」

BPWは、2015年国連総会で世界が合意した、2030年の実現を目指す「17の持続可能な開発目標(SDGs)」を重視し、特に#5(ジェンダー平等)と#8(働きがいと賃金)の実現に力をいれています。また GGGI(世界男女格差指数)の観点より #3 健康 #4 教育 #10 格差は正についても注視し、国内外で BPW の仲間とともに、他団体とともに、また行政や地域と協働して「SDGs 達成」「2030-5050/ニマルサンマル フィフティフィティ」の実現を目指します。



次世代とともに・CSW67 インターン



日本 BPW 連合会認定<ダイバーシティ・エドゥケーター>養成事業
ハラスメント問題の対応や予防を含め、ダイバーシティ(多様性)を推進するために必要な知識やスキルをグローバルスタンダードで身につけた人材を育成する講座(基礎、応用など)を実施。既定のポイント数を受講すると、(ダイバーシティ・エドゥケーター)の資格を取得できる。

Congress 開催地・今後の予定地

- 第20回 1991年 ケニア (ナイロビ)
- 第21回 1993年 日本 (名古屋)
- 第22回 1996年 イタリア (ベニス)
- 第23回 1999年 カナダ (バンクーバー)
- 第24回 2002年 オーストラリア (メルボルン)
- 第25回 2005年 スイス (ルツェルン)
- 第26回 2008年 メキシコ (メキシコシティ)
- 第27回 2011年 フィンランド (ヘルシンキ)
- 第28回 2014年 韓国 (チェジュ)
- 第29回 2017年 エジプト (カイロ)
- 第30回 2020年 アメリカ(オーランド): コロナ禍のため中止
⇒2021年3月総会議事のみオンライン実施
- 第31回 2024年 アルゼンチン (マル・デル・プラタ (予定))



2017年カイロ・コンGRESS



2014年チェジュ・コンGRESS

BPW International (IFBPW) は5大陸にわたる 100 以上の国と地域が加盟する国際 NGO です。国連の経済社会理事会の諮問機関として、総合協議資格を持つ団体で、国連の CSW(女性の地位委員会) 及び ILO、UNESCO、WHO などに代表を送っています。世界大会(コンGRESS)を3年に一度開催し、世界の女性達に共通する問題を協議・決議しています。

活動の目的

1. 女性の社会的地位と職業水準向上
2. 働く女性の社会環境の改善、整備
3. 国内外の働く女性間の親交と理解の促進
4. 国内外の組織・団体との協力連携
5. 世界平和への寄与

